



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

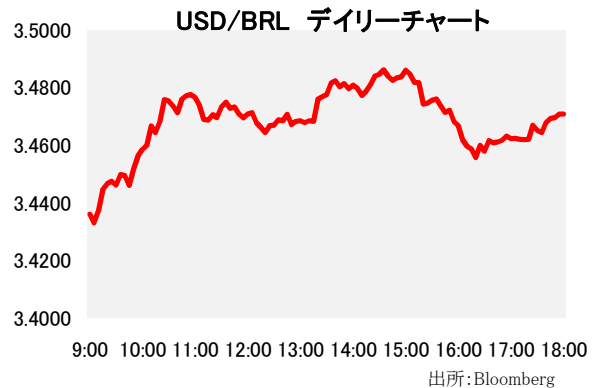
1. マーケット・レート

			7月29日	7月30日	7月31日	8月3日	8月4日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3310	3.3710	3.4210	3.4510	3.4710	+0.0200
	BRL/JPY	Spot	37.21	36.82	36.21	35.94	35.83	-0.11
	EUR/USD	Spot	1.0985	1.0933	1.0984	1.0952	1.0884	-0.0068
	USD/JPY	Spot	123.96	124.14	123.89	124.03	124.38	+0.35
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.307	14.164	14.183	14.247	14.238	-0.009
	Future	1Year(p.a.)	14.267	13.940	13.951	14.082	14.091	+0.009
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.765	1.770	1.847	1.946	2.120	+0.174
	USD	1Year(p.a.)	2.439	2.390	2.448	2.587	2.736	+0.149
株式	Bovespa指数		50,245	49,897	50,865	50,138	50,058	-80
CDS	CDS Brazil 5y		284.31	287.13	292.00	300.95	303.84	+2.89
商品	CRB指数		205.486	204.717	202.572	199.303	200.870	+1.57

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

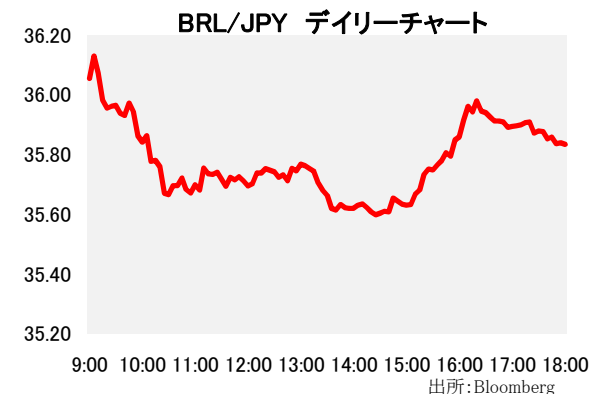
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE消費者物価指数(月次)	0.80%	0.85%	0.47%
鉱工業生産(前月比)	-0.7%	-0.3%	0.6%
鉱工業生産(前年比)	-5.0%	-3.2%	-8.9%
CNI設備稼働率(季調済)	--	80.1	80.0
(米)製造業受注指数	1.8%	1.8%	-1.1%



3. 要人コメント

ロックハート アトランタ連銀総裁	FRBは利上げに近づいている。9月は利上げに適切な時期となり得る。
---------------------	-----------------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.4420で寄り付いた。上海の証券取引所が信用売りの決済期間を翌日決済に変更するなどの措置をとったことが好感され、アジア時間に上海株が大幅反発したことを受けて、レアルはオープン直後に本日の高値となる3.4310を示現した。しかし、レアルの上値は重く、伯大手銀行の不良債権拡大が嫌気されてボベスパ指数が下げに転じると、レアルは3.48近辺まで軟調に推移した。その後、ロックハートアトランタ連銀総裁の9月利上げ示唆を受けてドル全面高の展開となると、レアルは本日の安値となる3.4870をつけた。引けにかけては短期筋の利食いも出て小反発し、結局3.4710でクローズした。
- 上海株の大幅反発を受けて、原油価格は4営業日ぶりに反発した。WTI先物の9月限月ものは一時46ドル前半まで反発し、45ドル台後半で引けた。明日の米在庫統計では2週連続で在庫が減るとの見通しが強まっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。